



## Kobe University Repository : Kernel

タイトル Title	西代講演会について（自治体・NGOとの協力による歴史資料保全事業）
著者 Author(s)	河野, 未央 / 添田, 仁
掲載誌・巻号・ページ Citation	歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業,2（平成15年度事業報告書）:66-67
刊行日 Issue date	2004-03-31
資源タイプ Resource Type	Presentation / 会議発表用資料
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
URL	<a href="http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81002189">http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81002189</a>

Create Date: 2017-12-18



## 西代講演会について

神戸大学大学院文化科学研究科院生 河野未央・添田仁

神戸大学文学部地域連携センターは、歴史資料ネットワーク（以下、史料ネット）とともに下記小講座を開催した。

平成15年5月11日（日）午前10：00～12：00  
「歴史あるまち、神戸一村の古文書からみる西代のむかしー」

於：神戸市長田区シューズプラザ

報告 添田 仁（神戸大学大学院生）「西代協議会所蔵文書と西代村」

講演 河野 未央（神戸大学大学院生）「近世西摂津地域の村々と年貢米輸送」

講演 奥村 弘（神戸大学助教授）「西代村の明治維新」

司会 熟 美保子（関西大学大学院生）

主催：歴史資料ネットワーク

共催：神戸大学文学部地域連携センター

後援：長田区役所

協力：西代協議会



この講座は神戸市が史料ネットへ委託した事業、平成14年度神戸市緊急地域雇用創出特別交付金事業「市民から引き継いだ古文書整理等」に関する成果報告の一環である。同事業は、市民から寄託・借用中の古文書を整理・目録作成

し、さらにマイクロフィルム等の撮影を進めることにより、神戸市内に現存する歴史資料の保存・閲覧資料等としての活用を図ることを目的としたものである。平成14年度は、阪神・淡路大震災の際に救出され現在神戸市文書館に保管されている近世～近代の文献資料を中心に、整理・撮影が進められた。西代協議会所蔵文書も、上記事業目的に沿って整理が進められた文書群である。

こうした事業の成果を地域に還元すべく講座が企画されたが、開催においては、会場の確保等、西代協議会の方々の多大なる協力を得た。

当日は、雨中にもかかわらず地元の方々を中心に57名の方の参加があった。報告・講演の内容はいずれも西代協議会文書を利用したものである。

最初に添田仁からの報告があった。添田の報告は、近世村落の「行政村」的側面に着目し、西代協議会文書が村の古文書として残ることの意味を考察したものであった。具体的には、最初に先述の事業について主旨・成果報告をおこない、次に西代協議会文書を紹介しながら、村の「行政」単位としてのあり方、そうした村々の連帯（ヨコのつながり）について、西代村五位之池の修復と大工組を事例に報告した。



次に河野未央の講演があった。河野は兵庫津を通じた海運による年貢米輸送のあり方に着目し、西代村をはじめとする西摂地域の村々がとった輸送システムとその変容を、安永7年(1778)の村々と兵庫津渡海船船主との争論を事例として紹介した。河野の報告も添田と同様、村の「行政」の側面に着目したものであった。

最後に奥村弘氏の講演があった。奥村氏は西

代村をはじめとする西摂地域の村々にとって明治維新とはいかなるものであったかというテーマのもと、報告をされた。まず、明治5年(1872)6月段階での地方行政のあり方が、惣代庄屋・庄屋という近世期の支配システムが継承されるという側面をもっていたことを説明され、次に明治6～9年(1873～1876)に実施された地租改正により納税システムが改正されたことで、村々を取り巻く状況が変化したことを明らかにされた。ここでは、西代村をはじめとする近隣3ヶ村が地価引き下げによる減免の嘆願をしたことが紹介された上で、この明治6～9年の一連の過程こそが西代村にとっての明治維新であったと結論づけられた。

報告・講演後には熱気のコもった活発な質疑が交わされた。参加者の地域の歴史に対する関心の深さもさることながら、その一方で西代協議会を通じて地元の方々とともに準備を進めたこと、地元の方々の関心に直接結びつく内容の報告・講演であったことなど、より地域に根ざしたかたちで講座を催したことが、こうした講座の盛況につながったものと考えられる。

(平成15年度も神戸市緊急地域雇用創出特別交付金事業を神戸市より新規に委託されており、現在神戸市文書館にて整理・撮影作業が進められている。)